



Quest[®] Site Administrator 1.5 *for SharePoint*



動作の仕組み

© Copyright Quest® Software, Inc. 2007. All rights reserved.

このガイドには著作権で保護されている機密情報が含まれています。このガイドで説明されているソフトウェアは、ソフトウェアライセンスまたは守秘義務契約の下に提供されています。このソフトウェアは、適用される契約の条項に準拠している場合のみ使用またはコピーできます。このマニュアルの一部または全部を複製または転送することは、購入者による個人使用以外の目的では、Quest Software, Inc.の書面による許可がない場合、複製および記録を含む電子的または機械的いかなる手段でも禁じられています。

免責事項

本書に含まれる情報は Quest 製品に関して提供されます。いかなる知的財産権に対する明示、黙示、禁反言またはその他のライセンスも本書により、または Quest 製品の販売に関連して付与されるものではありません。本製品のライセンス契約に明記された QUEST の契約条件に規定されたものを除き、QUEST はその製品に関連するいかなる責任も負うものではなく、また明示、黙示あるいは法定の保証を否認します。これには、商業性、特定用途への適合性、または権利の非侵害を含み、これらに限定されない黙示の保証が含まれます。QUEST はいかなる場合にも、本書の使用または使用の不能により生じる直接的、間接的、結果的、懲罰的、特殊的または付随的損害（利益の損失、業務の中断、情報の紛失を含み、これらに限定されない損害）に対して、かかる損害の可能性を通知されていた場合にも、責任を負いません。Quest は本書の内容の正確さや完全性に関していかなる表明または保証を行うものではなく、また、仕様および製品説明を予告なく随時変更する権利を保有します。Quest は本書に含まれる情報を更新することを確約しません。

商標

Site Administrator for SharePoint は、Quest Software, Inc.の商標です。このガイドで使用されているその他の商標および登録商標は、その所有者の財産です。

ワールドワイド本社

5 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

www.quest.com

電子メール: info@quest.com

各地域および海外の所在地情報については、本社サイトを参照してください。

Site Administrator for SharePoint

最終更新日 - 2007 年 1 月 31 日

ソフトウェアバージョン - 1.5

目次

Quest Software, Inc.について	3
クエスト・ソフトウェア (Quest Software, Inc.) へのお問合せ	3
クエストサポートへのお問合せ	4
概要	5
アーキテクチャ	6
コンポーネント	6
ワークフローの概要	7
SharePoint サーバの検出	9
手順 1: ネットワークコンピュータの列挙	9
手順 2: サーバのスキャンによる SharePoint の検索	10
段階 1: 情報の収集	10
段階 2: トポロジの収集	12
段階 3: アクセス許可のチェック	12
レポートの作成	13
データの収集	14
レポートの生成	14
ポリシーの実施	15
トラブルシューティング	16

Quest Software, Inc.について

クエスト・ソフトウェア (Quest Software, Inc.) は、アプリケーション、データベース、Windows インフラストラクチャによるパフォーマンスおよび生産性の向上を支援する革新的な製品を提供しています。IT 業務に対する深い専門知識、そして最善を追求する絶え間ない努力によって、クエスト・ソフトウェアは全世界 18,000 以上の顧客企業の IT ソリューションに対する高い期待に応えています。クエスト・ソフトウェアの Windows 管理ソリューションは、Active Directory、Exchange、Windows の利用を簡略化し、自動化とセキュリティ保護を提供するほか、管理下の環境に Unix や Linux を統合します。クエスト・ソフトウェアは、全世界にオフィスを展開しています。詳細については、www.quest.com を参照してください。

クエスト・ソフトウェア (Quest Software, Inc.) へのお問合せ

電子メール info@quest.com

住所 Quest Software, Inc.
ワールドワイド本社
5 Polaris Way
Aliso Viejo, CA 92656
USA

Web サイト www.quest.com

各地域および海外の所在地情報については、本社サイトを参照してください。

クエスト・ソフトウェア株式会社 (Quest Software K.K.) へのお問合わせ

電話： 03-5771-8620

電子メール： japansales@quest.com

住所： 〒107-0062
東京都港区南青山 3-1-3
大手町建物青山ビル 8F

Web サイト： <http://www.quest.com/japan/>

クエストサポートへのお問合せ

クエストサポートは、Quest 製品の試用版をお持ちのお客様、または製品版を購入し、有効な保守契約書をお持ちのお客様がご利用いただけます。クエストサポートは、弊社の Web セルフサービスである SupportLink で、24 時間体制のサービスを提供しています。SupportLink(<http://www.quest.com/japan/support/>)を参照してください。

SupportLink では、以下のことが行うことができます。

- 数千ものソリューション(ナレッジベースの記事/文書)をすばやく検索できます。
- パッチとアップグレードをダウンロードできます。
- サポートエンジニアにサポートを依頼できます。
- ユーザ事例をログに記録および更新し、その状況をチェックできます。

サポートプログラム、オンラインサービス、連絡先情報、およびポリシーと手順についての詳細な説明については、『Global Support Guide』を参照してください。このガイドは以下で入手できます。[http://www.quest.com/japan/support/Global Support Guide 2.5\(J\).pdf](http://www.quest.com/japan/support/Global Support Guide 2.5(J).pdf)

概要

Site Administrator for SharePoint を使用すると、SharePoint サーバと SharePoint サイトの検出と、ネイティブな管理ツールおよびポリシーの両方を使用した管理を容易に行うことができます。また、Site Administrator は、企業の SharePoint を使用した活動のあらゆる側面をカバーする、多数の定義済みのレポートも提供します。

この文書では、Site Administrator for SharePoint のインストールの検出、管理、レポートデータの収集、レポート生成の各段階について詳しく説明します。また、最も一般的な問題に対する対応策とトラブルシューティングのヒントも提供します。

この文書は、Site Administrator for SharePoint を使用するネットワーク管理者、コンサルタント、アナリスト、テクニカルサポートエンジニア、およびその他の IT の専門家を対象としています。

アーキテクチャ

コンポーネント

次の表は、Site Administrator のコンポーネントについて説明しています。

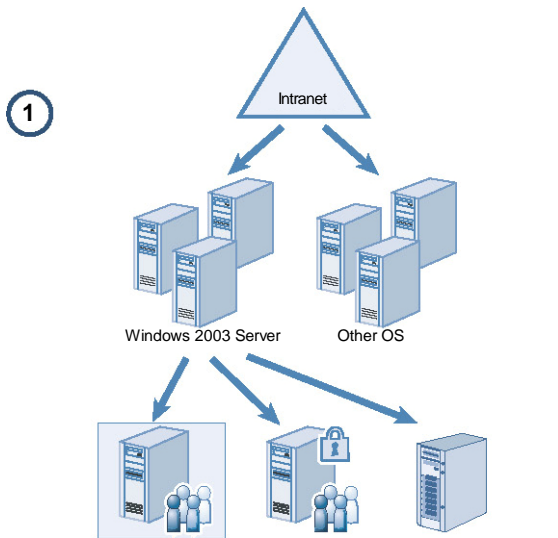
コンポーネント	説明
Site Administrator Console	Site Administrator MMC Console を使用すると、SharePoint サーバの検出と管理、サイト階層の参照、レポートデータの比較、レポートの表示、サイトおよびサーバのポリシーの作成と適用を行うことができます。
Report Data Collector	このコンポーネントは、レポートデータを SharePoint サーバから Repository Database に収集します。Report Data Collector は、Site Administrator Console のインストールの一部としてインストールされます。Windows のスケジュールされたタスクを作成して、選択したスケジュールに応じて起動することができます。
Repository Database	これは、以下のデータを含む SQL データベースです。 <ul style="list-style-type: none"> • Site Administrator の構成データ • 企業の SharePoint ポリシー • SharePoint サーバの構成に関する情報 • SharePoint のコンテンツメタデータ • レポート編集用に収集された情報
Policy Agent	Windows サービスが、管理対象の SharePoint サーバ上で動作し、Repository Database からの有効なサイトポリシーの取得とそれらの適用を行います。
Report Pack	Report Pack は、SQL Reporting Services ベースのレポートのセットであり、企業の SharePoint 環境におけるリソースの使用状況、コンテンツストレージ、ユーザアクティビティ、セキュリティと監査、サーバのアクティビティとパフォーマンスをカバーしています。

すべての Site Administrator コンポーネントは、1 つのサーバにインストールすることも、分散してパフォーマンスと拡張性を向上することもできます。

ワークフローの概要

Site Administrator for SharePoint の一般的なワークフローには以下の作業が含まれます。それぞれの作業については、以降のセクションで詳しく説明します。

1. SharePoint サーバの検出
2. レポートの作成
3. ポリシーの実施



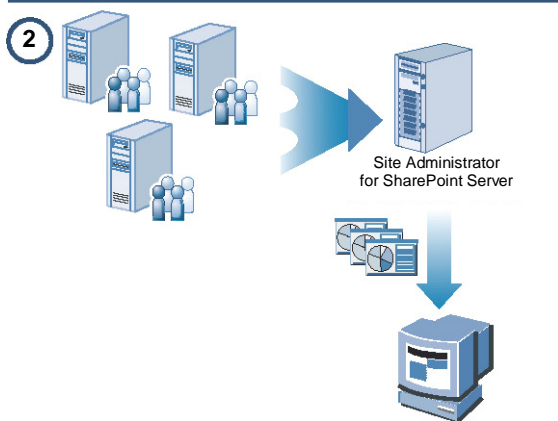
ドメインの列挙

SharePoint がインストールされている可能性があるコンピュータのリストを取得します

SharePoint サーバの検出

検出されたコンピュータを以下に分類します

- 管理対象の SharePoint サーバ
- 管理対象でない SharePoint サーバ
- SharePoint 以外のサーバ

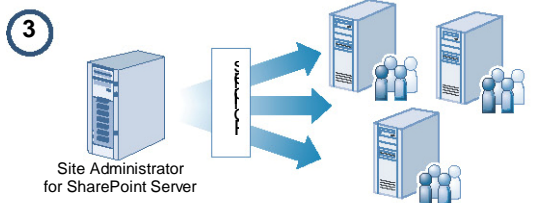


レポートデータの収集

検出された SharePoint サーバからレポートデータを収集します

レポートの生成

ユーザによって指定されたレポートのリストを生成します



ポリシーの実施

サイトおよびサーバのポリシーを作成し、企業の SharePoint サーバに適用します

SharePoint サーバの検出

SharePoint サーバの検出プロセスは、以下の段階で構成されています。

1. ネットワークコンピュータの列挙
2. サーバのスキャンによる SharePoint の検索

手順 1: ネットワークコンピュータの列挙

検出時に、Site Administrator for SharePoint は、まず、ネットワークで Windows SharePoint Services がインストールされている可能性があるコンピュータ（つまり、Windows 2003 Server を実行しているコンピュータ）を検索します。以下に示すように、検索テクノロジーは、指定するネットワークの範囲によって異なります。

- **Microsoft Windows ネットワーク**
Microsoft Windows ネットワークの検索は、ネットワークコンピュータ上で動作している NetBIOS の Computer Browser サービスを基盤としています。このサービスを使用して、Site Administrator は、ネットワーク全体のコンピュータのリストを取得し、フィルタをかけて Windows 2003 Server を実行していないコンピュータを除外します。このタイプの検索は、設計上多大な時間がかかり、権限の不足による問題が頻繁に発生します。
- **Active Directory**
Active Directory の検索を選択した場合、Site Administrator は、グローバルカタログからドメイン構造を取得し、ドメイン DC に接続して、Windows 2003 Server を実行しているドメインコンピュータのリストを取得します。
- **個々のコンピュータ**
特定のコンピュータが SharePoint サーバであると分かっている場合は、そのコンピュータを Site Administrator に追加できます。検索は、サーバの NetBIOS 名、DNS、または IP アドレスを指定して実行します。

手順 2: サーバのスキャンによる SharePoint の検索

次に、Site Administrator は、SharePoint がインストールされている可能性があるコンピュータについての情報を取得および処理し、以下の 3 つのグループに分類します。

検出された SharePoint サーバ		SharePoint 以外のサーバ
管理対象のサーバ	管理対象でないサーバ	その他
ポリシーの実施対象の SharePoint サーバ。サーバに関する詳細な情報が入手可能	管理されない SharePoint サーバ。アクセス権の不足または構成上の問題により、入手できるのはサーバの基本情報のみ	SharePoint のインストールが見つからなかったサーバ

リサーチは、処理されるコンピュータにエージェントまたはサービスをインストールせずに実行されます。

コンピュータのスキャンによる SharePoint の検索は、以下の段階で構成されています。

- 情報の収集
- トポロジの収集
- アクセス許可のチェック

段階 1: 情報の収集

Site Administrator は、以下の方法を使用して、各サーバに SharePoint のインストールがあるかどうかをチェックします。

1. リモートレジストリ

Site Administrator は、特定のレジストリブランチで以下の SharePoint Services のインストールデータを検索します。

- Windows SharePoint Services と SharePoint Portal Server のバージョン
- インストールパス
- SharePoint 構成データベースへのリンク
- 仮想サーバの ID

この操作には、以下のレジストリキーの読取りアクセス許可が必要です。

レジストリセクション	具体的な値
SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Installer\UserData\S-1-5-18\Products\[製品コード]\InstallProperties	DisplayName と DisplayVersion
SOFTWARE\Microsoft\Shared Tools\Web Server Extensions\6.0	Location
SOFTWARE\Microsoft\Shared Tools\Web Server Extensions\Secure\ConfigDb	Dsn
SOFTWARE\Microsoft\Shared Tools\Web Server Extensions\12.0	Location
SOFTWARE\Microsoft\Shared Tools\Web Server Extensions\12.0\Secure\ConfigDb	Dsn
SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Installer\UpgradeCodes	
SOFTWARE\Microsoft\Shared Tools\Web Server Extensions\Ports	

2. IIS メタベース

Site Administrator は、WMI クエリを使用して、以下の IIS メタベースからの SharePoint 仮想サーバ情報を要求します。

- ホストヘッダー
- 仮想サーバのポート
- SSL 情報

この操作には、IIS メタベースのローカル管理者権限が必要です。

3. SQL-ping

Site Administrator は、以下の仮想サーバの構成情報を SQL データベースから取得します。

- SQL のバージョン
- コンテンツデータベース
- サイト数
- ファームのホスト

4. HTTP-ping

Site Administrator は、Discovery Wizard で指定されたコンピュータのポートに対して要求を送信し、HTTP アクセスをチェックします（デフォルトのポートは 80、8080、443）。応答ヘッダーの値に「SharePoint」が含まれていた場合、コンピュータは SharePoint サーバとしてレポートされます。これは、追加のアクセス許可を必要とせず、トラフィックフィルタの影響を受けないため、最も一般的で信頼性の高い検索方法です。



マシン上に、Discovery Wizard で指定されたポートで待機している SharePoint 仮想サーバがない場合、およびアクセス許可の不足が原因でその他のチェックが失敗した場合は、コンピュータは SharePoint サーバとして識別されません。

これらのチェックを実行した後に、Site Administrator は、結果を分析して、処理されたコンピュータを以下の 3 つのグループに分類します。

- 管理対象のサーバ
- 管理対象でないサーバ
- その他（SharePoint 以外のサーバ）

収集されたデータから、ユーザが、さらなるレポートデータの収集やポリシーの実施のための十分なアクセス許可を持っているかどうか分かります。これらの操作の少なくとも 1 つが失敗すると、コンピュータは管理対象でないサーバとしてレポートされます。

段階 2: トポロジの収集

次に、Site Administrator は、OLE データベースのインターフェイスと Web サービスを使用して、SharePoint 構成データベースからトポロジ情報と統計値を取得します。

段階 3: アクセス許可のチェック

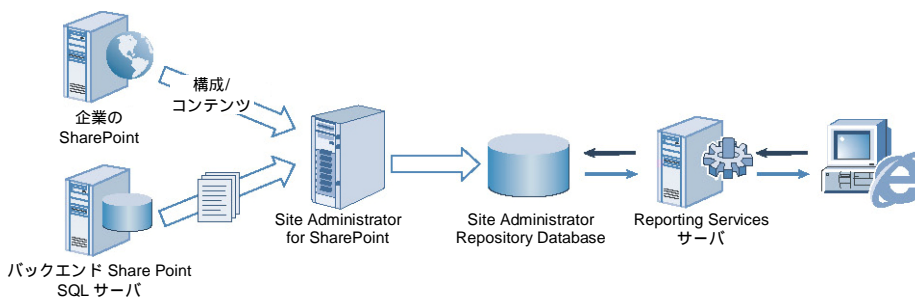
前の 2 つの段階での外部のソースクエリが実行されるたびに、アクセス許可情報が収集されます。その後、Site Administrator は、発生したエラーについての情報を編集します。

レポートの作成

レポートデータの収集は、スケジュールされたタスク（デフォルトでは 24 時間おき）として、または要求に応じて実行されます。以下のデータを取得します。

- SharePoint コンテンツデータ (SharePoint コンテンツの SQL データベースから)
- SharePoint 構成データ (SharePoint 構成の SQL データベースから)
- IIS と SharePoint のログファイル (フロントエンド SharePoint サーバから)
- パフォーマンスカウンタ (Web フロントエンドサーバおよび SQL サーバから)

この情報は、Repository Database に格納されます。ユーザは、インターネットブラウザを使用して、Reporting Services ベースのレポートを表示できます。Site Administrator の Report Pack は、Repository Database からの最新のデータを使用し、SQL Server Reporting Services を利用して、要求されたレポートを編集します。



データの収集

Site Administrator は、複数のソースから特定のレポートの情報を取得します。次の表は、各ソースから収集されるデータを示しています。

ソース	収集されるデータ
バックエンド SharePoint SQL データベース	<ul style="list-style-type: none">• SharePoint 構成データ• SharePoint コンテンツデータ(ファイルの本文を除く)• SQL パフォーマンスカウンタのログ
フロントエンド SharePoint サーバ	<ul style="list-style-type: none">• SharePoint アクティビティログ• IIS ログ• IIS パフォーマンスカウンタのアップタイムログ



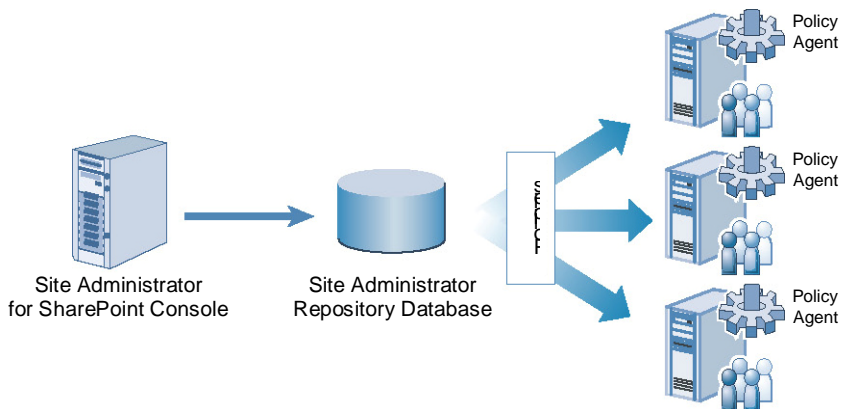
Site Administrator for SharePoint は、該当するサーバで SQL パフォーマンスカウンタと IIS パフォーマンスカウンタを起動して、カウンタのログファイルから、定義済みのレポートに必要な情報を収集します。

レポートの生成

Site Administrator for SharePoint のレポート生成機能は、Microsoft SQL Server Reporting Services テクノロジを基盤としています。Site Administrator Report Pack には Reporting Services ベースのレポートが含まれます。このレポートは、Site Administrator Collector サービスによって収集され、Repository Database に格納されているデータから編集されます。

ポリシーの実施

ポリシーに基づいた SharePoint サイトと SharePoint サーバの制御は、Policy Agent によって管理されます。Policy Agent は、フロントエンド SharePoint サーバで動作する Windows サービスです。サービスの登録後に、Policy Agent はリモートで起動されます。この操作には、該当するフロントエンド SharePoint サーバのローカル管理者権限が必要です。



Site Administrator Console Policy Editor を使用してポリシーを作成できます。ポリシーは、Repository Database に格納されます。Policy Agent は、Repository Database に各サイトまたはポータルに対する有効なポリシーがあるかどうかをチェックし、デフォルトでは 12 時間以内に、そのポリシーを適用します。

トラブルシューティング

次のセクションでは、Site Administrator for SharePoint の最も一般的な問題に対するトラブルシューティングでの推奨事項を示します。

問題の説明	対応策
<p>SQL 2005 Express Edition がローカルにインストールされ、すべてのサービスが動作している場合でも、SPA のインストール時に、運用データベース用に SQL サーバを指定しようとする、「データベースサーバが存在しません」というエラーが表示される。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. データベースサーバの TCP/IP プロトコルへのアクセスが制限されていないこと（デフォルト設定）を確認します。そのためには、SQL Server Configuration Manager を実行し、TCP/IP プロトコルアクセスを有効にします。動的ポート構成が使用されている場合は、SQL Browser サービスも許可され、動作していることを確認します。SQL サービスを再起動します。 2. 通常、SQL Express 2005 は、「インスタンス」構成を使用してインストールされます。SQL Express 2005 を実行している場合は、<code><SERVER_NAME> \<INSTANCE_NAME></code> の形式を指定して、サーバにアクセスします（通常、インスタンス名は <code><SQLEXPRESS></code> です）。
<p>検出段階で、Site Administrator が、現在のアカウントに十分なアクセス権があるサーバを管理対象でないサーバのリストに含める。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Site Administrator は、現時点では、「Basic（基本）」認証方式を使用する SharePoint サーバはサポートしていません。認証の種類を「Integrated（統合）」に変更してください。 2. SharePoint サーバが、リモート接続をサポートしない WMSDE データベースを使用している可能性があります（このオプションはインストール時に設定されます）。この問題を解決するには、データベースを SQL 2003 以降を実行しているサーバに移動します。 3. SharePoint のフロントエンドサーバが、SSL をサポートしていて、FQDN サイト名を含むサーバ証明書を持っている場合、SPA は、接続試行時に「HTTP アクセスに失敗しました（証明書に含まれるホスト名が無効であるか、または一致しません）」というエラーメッセージを受け取ります。この問題を解決するには、以下の 2 つの方法があります。 <ul style="list-style-type: none"> • サイトの IIS 設定で、FQDN サイト名を [ホストヘッダー] フィールドの値として設定します。 • SPA コンソールを実行しているサーバの Internet Explorer の設定で、[インターネット オプション] [詳細設定] [無効なサイト証明書について警告する] オプションを無効にします。

問題の説明	対応策
統計値の収集段階でエラーが表示される。	統計値の収集に使用されているアカウントが、以下の権限およびアクセス許可を持っていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none">• IIS サーバのローカル管理者権限• SharePoint データベース SQL サーバのローカル管理者権限• SharePoint データベースの読取りアクセス許可• SPA データベースへのフルアクセス権
Policy Agent のインストールを試みると、「Policy Agent をインストールできません」というエラーが表示される。	現在のアカウントが、以下の権限およびアクセス許可を持っていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none">• IIS サーバのローカル管理者権限• SPA データベースへのフルアクセス権（構成および統計値）